

2014年3月21日

外務大臣 岸田文雄様
軍縮不拡散・科学部長 北野充様

核兵器廃絶日本NGO連絡会

メキシコ会議の成果をふまえ、NPDI広島会合に向けた要請と質問

今年2月にメキシコで開催された第2回「核兵器の人道上的影響に関する国際会議」におきましては、被爆者証言セッションの実現等について尽力くださいましたことに感謝申し上げます。同会議は重要な成果を上げ、オーストリア政府は年内に第3回同会議を開催することを発表しました。核兵器の非人道性を国際規範の強化につなげていく動きが盛り上がりを見せています。このことは、2015年核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けたプロセスの中でも重要な意味を持ちます。

こうした中で4月11～12日広島にて開かれる軍縮・不拡散イニシアティブ（NPDI）外相会合は大変重要です。同会合に私たちは大きな関心をもっております。

政府の考え方と方針について、以下の通り要請また質問をいたします。

記

1.（質問）

第2回「核兵器の人道上的影響に関する国際会議」の成果についての日本政府としての考え方を示してください。年内にはオーストリアで第3回会議が開催されますが、日本政府としての取り組み計画について説明してください。

2.（要請と質問）

NPDI広島外相会合に向けて

2-1（要請）核兵器の非人道性に関して

- ① 日本政府はNPDI会合のホスト国として、そして被爆国として、NPDI広島会合において核兵器の非人道性に焦点を当てるべきです。
- ② メキシコ会議では、被爆証言を含め核兵器の非人道性に関する議論がこれまで以上に深まり、行動への機運が高まりました。NPDI外相は、この成果を歓迎し、年内に開かれるオーストリア会議への多くの国々の参加を呼びかけるべきです。
- ③ 日本をはじめNPDI各国は、核兵器の非人道性と国際人道法の観点から、核兵器を禁止する条約交渉への外交プロセスを促進すべきです。
- ④ 核兵器禁止条約交渉への外交プロセスを進めることは、2010年NPT再検討会議のアクションプランを実施するというNPTの目標と合致します。

2-2(質問)NPDIが取り上げている個別議題について

① 核兵器の役割の低減に関する日本政府としての考え方について説明を求めます。

岸田外相は今年1月20日の長崎大学での演説で、核の使用を「究極の自衛の場合のみに限定」するよう核兵器国に呼びかけると述べました。これに対しては被爆地、被爆者団体から核使用を認めるものとして非難の声があがりました。

そもそもこの「究極の自衛の場合のみに限定」という表現は、既に米国をはじめ多くの核兵器国が自国の政策として2010年NPT再検討会議等で公表している内容とほとんど変わりがありません。岸田外相が「核兵器国に呼びかける」という場合、それがどのような国に対して何を呼びかけているものであって、核兵器の役割の低減についてどのような国際的な前進を求めたものであるのか、説明を求めます。

② 透明性について。NPDIは核保有国に核保有や軍縮に関する報告を求めています。同種の報告フォーマットを使って、NPDI国自身が自らの軍縮・不拡散政策を説明すべきではありませんか。

たとえば安全保障政策における核の役割の縮小については、核保有国だけでなく核抑止力に依存する安全保障政策をとるすべての国が前進させ説明をする必要があります。「核の傘」の国が多数参加するNPDIは、この問題について主導すべき立場にあります。

また、核兵器に利用可能な核分裂性物質の保有状況については、日本を含むNPDI各国が国際社会に説明責任を果たすべきではありませんか。核セキュリティサミットの関連でも、日本の分離プルトニウムの保有状況に対する懸念が表明されています。日本政府は核不拡散にコミットする非核兵器国として、兵器に利用可能な核分裂性物質の保有状況に関する自国の情報公開が十分であると考えていますか。

以上、要請事項と質問事項に対して、回答を求めます。

注1:核兵器廃絶日本NGO連絡会は、核兵器廃絶に取り組むNGO・市民のネットワーク組織であり、以下の5名が共同世話人をつとめています。

川崎哲（ピースボート）

田中熙巳（日本原水爆被害者団体協議会）

朝長万左男（核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会）

内藤雅義（日本反核法律家協会）

森瀧春子（核兵器廃絶をめざすヒロシマの会）

連絡先 03-3363-7561（ピースボート）

nuclear.abolition.japan@gmail.com

注2:別添にて、私たちと連携して活動している国際的NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」とオランダのNGO「PAX」がそれぞれNPDI各国に提出した提言書を添付します。合わせてご参照いただければ幸いです。